

第3回 帯広市産業振興会議次第

日時：平成21年7月6日（水）18:00～

場所：帯広市役所10階第6会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

- (1) 帯広市産業振興会議の進め方について
協議の前段において、以下の説明を受ける

★ 産業振興ビジョン策定までの経緯について

- ・ 帯広市中小企業振興基本条例から産業振興ビジョンまで
副会長 岩橋 浩 氏
- ・ モノづくり創業部会
副部会長 太田 豊 氏
- ・ 経営基盤人材部会
部会長 曾根 一 氏
- ・ 交流部会
部会員 志子田 英明 氏
- ・ 産業基盤部会
部会長 竹川 博之 氏

(2) その他

次回の振興会議について

- ・ 植田浩史慶應義塾大学教授を招いた講演 or セミナー
- ・ 「仮称・地域産業政策と自治体～現場からの提言～」
- ・ 日時：8月27日（木）午後4時ごろから
- ・ 場所：未定

帯広市産業振興会議小委員会設置事業

(1) 地域経済リサーチ小委員会

【ビジョン事業】

中小企業の経営基盤の強化

基本施策 7 地域経済の調査研究

展開事業番号 1 3 地域経済の調査・分析

調査分析の効果的実施、有効活用等

・ビジョン記載内容 (P39)

展開事業(13) ■地域経済の調査分析

- 地域内経済循環の現状を把握し、施策の効果を測定するためには、継続的に地域経済の調査分析を行う必要があることから、行政、経済団体、大学、試験研究機関、金融機関等の連携のもと、調査分析の効果的実施や有効活用を進めます。
- 地域の中小企業者等の実態調査について、実態分析や施策の効果測定などに活かすよう実施時期や調査内容の研究を進めます。

・提案の考え方

地域経済の現状把握は産業振興ビジョンはもとより、産業政策立案や施策の点検のためには必要不可欠なものであり、関係する部署機関が多岐にわたるほか、継続的な把握をする体制構築が早期に必要であると判断したものの。

・小委員会構成のイメージ

金融機関、経済研究者、商工業者、行政など

(2) 十勝のストーリーづくり検討小委員会

【ビジョン事業】

ものづくり産業の振興

基本施策 1 4 地域ブランドの形成

展開事業番号 2 7 市場開拓・販路拡大

十勝のストーリーづくり検討会の設置

・ビジョン記載内容 (P44)

展開事業(27) ■市場開拓・販路拡大

- 「十勝（とちち）」のイメージを更にアピールするため、ものづくりや商品に付随するストーリーを創出する取り組みを進め、十勝を総合的にプロデュースする活動を検討し、売れる商品戦略の取り組みを進めます。

・提案の考え方

十勝においては、JA 帯広市川西、JA 帯広大正の両農協が地域団体商標登録制度、十勝ブランド認証機構が品質・衛生面の自主基準を定めた認証制度を活用し、技術的な側面からの「ブランド化」に向けた取り組みを進めている。生産、加工においては「一流」の商品に、イメージ戦略を加えることにより、市場開拓、販路拡大につなげるよう取り組む。

・小委員会構成のイメージ

農業関係者、デザイン関係者、商工業者、観光関係者、行政など

※設置の考え方については6月3日、第2回会議で確認済み。部会⇒小委員会に変更し提出

帯広市産業振興ビジョンの推進体制(案)

第2回配付「資料2」の修正版⇒正副会長案

帯広市中小企業振興基本条例(案)

帯広市産業振興ビジョン (H21.2)

①振興会議メンバーの共通認識を図るため、年3回より多めに会議を開催する

③他の組織への関与は、一律にはできないことから、可能な範囲で、参画する振興会議委員等からヒアリングするなど、意見交換に努める

